



高原の自然を感じて

第 28 回青山高原つつじクォーターマラソン大会 (5月31日)

▼クォーターの部では 807 人が参加し、スタートの合図で勢いよく走り始めました。



青山高原で、第 28 回青山高原つつじクォーターマラソン大会を開きました。この大会は 3 km の部、5 km の部、10.55 km を走るクォーターの部に分かれて行われました。

この日は、強い風が吹く中でのレースになりましたが、参加した 1,130 人のうち 1,111 人が見事完走を果たしました。ゴール地点では、起伏の激しいコースを走りきりお互いの健闘を称え合うランナーの姿が見られました。



▲新緑の青山高原を爽やかな汗を流しながら駆け抜けました。

1 対 1 の真剣勝負！

上野子ども会卓球大会 (6月6日)

県立ゆめドームうえので上野子ども会卓球大会が開催されました。この大会は、卓球競技をとおして、たくましい心身をつくり、みんなが仲良くなるとともに、青少年の健全育成に役立てることを目的に毎年行われています。

64 回目となる今年は、26 団体 238 人が参加し、4 年生以下の部男女、5 年生の部男女、6 年生の部男女に分かれて順に行われました。



◀▼選手たちは、日頃の練習の成果を発揮しようと、一生懸命プレイしていました。



発表と交流の場

島ヶ原文化サークルまつり演芸会 (6月7日)

この催しは、文化・教養の振興を図るために毎年開催されているもので、今年は 10 グループ約 90 人が参加しました。

ふれあいバンドミドルズによる演奏や、日本伝統民謡音楽教室による「祝い目出度」などの披露のほか、大正琴やオカリナ、コーラスなどさまざまなグループが日頃の練習成果を発表し、訪れた人を楽しませました。



◀ふれあいバンドミドルズのステージでは、ボーカルが加わった演奏が披露され、訪れた人は聞き入っている様子でした。

▶大正琴の奏でる繊細な音色が会場を魅了しました。



有料広告を募集します

広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は、市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

【発行部数】約 36,000 部

【掲載料】1 枠…2 万円

(縦 5 cm × 横 9 cm)

【申込期限】発行日 2 カ月前

【問い合わせ】広聴情報課

☎ 22・9636





女性も男性も輝く地域へ

いきいき未来いが（6月13日）

▼パネルディスカッションでは、女性も男性も関係なく皆と一緒に参加することの大切さを話し合いました。



ふるさと会館いがで、いきいき未来いが2015を開催しました。講演会では、東京未来大学教授の石阪督規さんが「だから必要！男女共同参画」と題して男女共同参画の必要性についてわかりやすく話しました。

また、石阪さんをコーディネーターに迎え、市内の教育、家庭、企業の各分野で活躍する3人をパネリストとして「私が変わる！！女男に輝ける社会」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

この日は約400人が訪れ、男女共同参画の必要性について理解を深めました。



▲講師は、女性が地域社会で活躍することの大切さを説明しました。

本紙 25 ページの「公共交通を利用しましょう」について、わかりやすく解説します。



こども広場 「ワンモア運動」

バスは生活に欠かせない
交通手段

バスは車を運転できない人や高齢者にとって、通学・通院・買い物など、日常生活に欠かせない交通手段です。しかし利用者は年々減り、市内でも便数が減ったり路線がなくなったりしています。

「ワンモア運動」とは

もう1回乗ろうという取り組みです

今、市内を走るバスの多くは、市が赤字を負担して運行しています。さらに利用者が少ない状況が続くと、バスの運行が続けられなくなる可能性があります。そこで伊賀市では、電車やバスにもう1回乗ろうという「ワンモア運動」を行っています。

バスの乗り方はかんたん

バスに乗ってみたいけど乗り方がわからないという人のために、バスの乗り方を紹介します。（三重交通(株)路線バスで現金支払いの場合）

①バスが何時に来るか、

時刻表で確認。

②バスが来たら後ろのドアから乗る。

③始発のバス停以外で乗る場合は入口近くの機械から出てくる整理券を取る。

④降りるバス停の放送が流れたら「とまります」ボタンを押す。

⑤降りるバス停に着いたら運転席横の運賃箱に整理券と運賃を一緒に入れる。（運賃は、車内の前方に整理券の番号ごとに表示されています。）

⑥前のドアから降りる。

バスにはさまざまな人が乗るので、大きな声で話さない、窓から手や顔を出さないなど、マナーを守ることが大切です。

一人ひとりの少しの利用が

大きな力になる

バスの乗り方はわかりましたか。わたしたちのまちから公共交通をなくさないためにも、一人ひとりが少しでも多く利用することが大切です。

出かけるとき、たまには家族や友だちを誘って、バスで遠足気分を味わってみてはいかがでしょう。

【問い合わせ】

総合政策課

☎ 22・96663 FAX 22・9672

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など